

施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
健康福祉部	菅生 治郎	63-7599 (高齢・障害支援室)

施策体系	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉

1. 施策の基本方針 **Plan**

・地域社会や職場の担い手として自らの選択と能力に応じ、はつらつと活躍ができるよう、活力に満ちた生涯現役の長寿社会を創造します。
 ・家庭や住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるよう、保健福祉サービスの基盤整備と介護予防、生活支援（地域支え合い）の取組を進めます。

2. 目標

○重点目標 **Plan**

・高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けることができるよう、健康づくりや介護予防の取組を推進するとともに、日常生活圏域における地域密着型サービス施設の整備を計画的に進めます。
 ・認知症になっても本人や家族が地域で安心して暮らせるよう、早期から支援を行える体制を整えるとともに、認知症者に対して地域住民が適切に対応できるように取り組みます。
 ・高齢化が急激に進むなか、地域において元気な高齢者が支援が必要な高齢者を支える体制を構築します。

○目標達成に向けた課題 **Plan**

・健康づくりや介護予防を推進するためには、地域における自主的・自発的な取組が重要です。
 ・認知症者が地域で暮らし続けていくためには、地域住民の支援が不可欠であるため、認知症に関する正しい理解を広めていく必要があります。
 ・超高齢社会を迎え、福祉サービスの需要増大、ニーズの多様化にも対応できるよう、地域の住民同士の支え合い・助け合いによる有償ボランティアで支援する体制づくりを進めていく必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

意見なし

○施策指標（目標）及び達成状況 **Plan Do**

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
生きがいを感じながら、安心して暮らしている高齢者の割合（％）	目標	-	-	78.0	-	-	79.0	
	成果	76.2	74.9	77.5	77.9	76.9		25%
地域づくり組織・区・自治会などの地域づくり活動に参加したことのあつた65歳以上の市民の割合（％）	目標	-	-	78.0	-	-	80.0	
	成果	76.6	66.7	65.6	64.7	71.9		0%
目的を持って生涯学習に取り組んでいる65歳以上の市民の割合（％）	目標	-	-	49.0	-	-	51.0	
	成果	47.8	52.5	51.1	51.3	54.7		100%
週に1回以上スポーツに親しんでいる65歳以上の市民の割合（％）	目標	-	-	47.0	-	-	49.0	
	成果	45.8	56.7	51.4	51.8	54.9		100%
中重度の要介護認定者の割合（％）	目標	-	-	9.05	-	-	9.00	
	成果	9.10	9.90	10.00	9.80	9.70		0%

3. 取組内容

○課題解決への取組内容 **Do**

・地域づくり組織等との連携により、健康づくり教室や介護予防教室を実施するとともに、地域住民の認知症理解を促進するため、認知症サポーター養成講座を積極的に展開しました。
 ・まちの保健室が地域住民や民生委員と連携し、認知症等の要援護高齢者を見守るとともに、早期にかかわることにより介護予防や重症化予防に取り組みました。
 ・有償ボランティアの立ち上げ及び事業の運営に対して支援を行いました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

意見なし

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

- ・健康づくり教室や介護予防教室、認知症サポーター養成講座を地域づくり活動と一体的に実施しました。
- ・民生委員や地域住民とともに要援護高齢者の見守り支援を行いました。
- ・地域の住民同士の支え合い・助け合いによる有償ボランティアの活動を支援しました。
- ・名張建設労働組合と協働で災害時要援護者家具固定事業を実施しました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 22 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
					事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
1039	外出支援サービス事業	高齢・障害支援室	42	59	B	該当しない	継続(現行)	B	B
1040	軽度生活援助事業	高齢・障害支援室	3,231	3,720	B	検討している、今後可能性がある	継続(拡大)	B	A
1041	災害時要援護者対策家具固定事業	高齢・障害支援室	426	262	B	実践している	継続(現行)	B	A
1042	生きがい活動支援通所事業	高齢・障害支援室	22,165	24,338	B	該当しない	継続(現行)	B	B
1045	訪問理美容事業	高齢・障害支援室	32	25	B	該当しない	継続(現行)	C	B
1048	老人福祉電話事業	高齢・障害支援室	234	236	B	該当しない	継続(現行)	C	C
1049	老人保健福祉週間事業(敬老の日)	高齢・障害支援室	13	13	B	該当しない	継続(現行)	C	C
2002	緊急通報システム事業	高齢・障害支援室	520	468	B	該当しない	継続(改善)	B	B
2003	特別養護老人ホーム等措置費	高齢・障害支援室	0	0	—	該当しない	継続(現行)	—	—
2005	養護老人ホーム措置費	高齢・障害支援室	99,333	103,321	—	該当しない	継続(現行)	C	C
3020	施設開設準備経費助成等補助金	高齢・障害支援室	8,400	57,000	A	該当しない	継続(現行)	A	A
3021	生計困難者介護保険サービス利用負担額減免措置事業	高齢・障害支援室	350	417	B	該当しない	継続(現行)	C	C
3022	地域密着型サービス整備事業	高齢・障害支援室	60,000	90,876	A	該当しない	継続(現行)	A	A
3023	民間社会福祉施設整備費借入金償還補助金(高齢者福祉)	高齢・障害支援室	20,858	20,313	B	該当しない	継続(現行)	C	C
3024	民間老人保健施設整備費借入金償還補助金	高齢・障害支援室	11,793	11,334	B	該当しない	継続(現行)	C	C
3025	老人クラブ助成補助金	高齢・障害支援室	2,472	2,399	B	該当しない	継続(現行)	B	B
3083	養護老人ホーム運営事業補助金	高齢・障害支援室	13,166	5,465	B	該当しない	継続(現行)	B	B
5007	老人福祉センター管理費	人権・男女共同参画推進室	2,449	2,647	B	検討している、今後可能性がある	継続(改善)	C	C
6055	伊賀地区福祉有償運送運営協議会費	高齢・障害支援室	100	100	—	該当しない	継続(現行)	B	B
6056	老人ホーム入所判定委員会費	高齢・障害支援室	99	114	—	該当しない	継続(現行)	C	C
6057	老人福祉総務一般経費	高齢・障害支援室	588	114	—	該当しない	継続(現行)	C	C
7013-3	介護老人保健施設ゆりの里(病院事業会計)	ゆりの里(総務室)	248,060	265,864	B	実践している	継続(改善)	B	B
合計(単位：千円)			494,331	589,085					
小計(うち、一般会計分)			246,271	323,221					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			248,060	265,864					

5. 部局による施策評価

Check

評価

計画どおり事業推進

成果・評価理由

- ・平成26年度は地域づくり組織等との連携により、健康づくり教室を77回（1,601人参加）、介護予防教室を52回（1,151人参加）実施しました。
- ・認知症サポーター養成講座を36回開催し、1,005人の認知症サポーターを養成しました。
- ・地域密着型サービス施設（認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護）を3箇所整備しました。
- ・災害時要援護者対策家具固定事業については、29件の整備を実施しました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

引き続き、名張市老人福祉計画及び介護保険事業計画に基き、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要な、介護、予防、医療、生活支援、住まいの5つのサービスを一体化して提供する「地域包括ケア」体制の一層の推進を目指して、計画の推進に取り組みます。